

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月2日

和泉市長 あて

団体名 笑泉会

代表者名

岸井武昌

所在地 和泉市青葉台1丁目5-9

電話番号 070-6924-7472

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	笑泉会
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■ チャレンジコース □ ステップアップコース (2) 地域活性化コース □ 地域活性化コース
事業費総額	72,000 円 (うち、対象経費 70,000 円)
支援金 交付申請額	46,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ショウセンカイ		
団体名	笑泉会		
団体の目的	落語を通じて社会福祉の向上を目指す。地域の各自治会、老人会での落語会に於いて、笑いを通じて心と身体を癒し、健康生活を促進する。		
市内事務所の所在地	〒594-1153 和泉市青葉台 1-5-9		
	専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）		
	電 話	██████████	FAX ██████████
フリガナ	ヤスイ タケマサ		
代表者氏名	安井 武昌		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ ██████ ██████		電 話 ██████████
	██████████		FAX ██████████
	██████████ ██████████		
設 立 年 月	2023年12月	主な活動地域	和泉市全域、
会報等の発行	有（ 回発行）	無	会員数 15人
メールアドレス	██████████		
ホームページ	http://		
主な事業内容	「落語」の普及と笑いの語り部養成、そして明るい地域社会の笑いの向上を目指す。		
主な活動の実績	年四回の定期公演会「わくわく寄席」と各地域自治会、老人会からの依頼により年十回の「出前寄席」によって、市民へ「落語」を通じて笑いを広める。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	令和6	和泉市福祉協議会かがやき助成金	80,000円
令和7	和泉市福祉協議会かがやき助成金	90,000円	

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	笑泉会
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性 (※別紙添付可)	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	<p>人生百歳時代を迎え、いつまでもイキイキと健康で暮らすのが大切と言われているが、一人暮らしの方は増加する一方で、コミュニケーションの機会が減ったり、ひきこもったりすることが多くなっている。そのような方々に笑いを通して明るくなってもらうため、親しみやすい古典芸能でもある落語を行う。</p>
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	<p>本会が実施する落語会は、老若男女を問わず広い世代が楽しめ、世代間の交流を促すことを目標としています。地域の自治会などからの交流会への寄席の依頼に応えることは、和泉市の地域の住民の日常生活に潤いを与えることとなり、それが社会福祉向上につながる大きな効果を生むと考えられます。</p>
4 事業内容 (※別紙添付可)	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。	<p>・「わくわく寄席」和泉市シティプラザ和室にて年四回（5月、7月、11月、1月）開催。毎回、会員7名出演、お客様40名のご来場。 ・「出前寄席」として「鍛冶屋」鍛冶屋町民会館、「春木町」春木町・町会館、「浦田町」浦田町希望のつどい、「大野」大野老人クラブ、「国分」ふれあい国分会、「納花」納花町いきいきサロン、「和泉市市民文化祭」弥生の風ホール、「福社会館」和泉市総合福社会館、等の施設に於いて、各会、三名の演者で一時間の落語会を実施。毎回30名の参加実績。</p>
② 実施期間（日時）	令和8年4月1日～令和9年3月15日
③ 実施場所	シティプラザ、町民会館、自治会館、社会福社会館
④ 主な対象者	和泉市民
⑤ 参加予定者数	各25名～40名
⑥ 告知方法	チラシ、回覧板、コミュニティ紙面、アイあいロビー・LINE

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容 2026年 5月、第11回「わくわく寄席」和泉シティプラザにて 2026年 7月、第12回「わくわく寄席」和泉シティプラザにて 2026年11月、第13回「わくわく寄席」和泉シティプラザにて 2027年 1月、第14回「わくわく寄席」和泉シティプラザにて その他「出前寄席」随時、各自治会、老人会等にて
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	「出前寄席」により、近隣の会館等で実施することで高齢者の方々の参加が容易となる。地域のコミュニケーション促進、笑いによる体力増強に貢献している。
② 継続性	「笑泉会」会員も発足時の10名から15名に会員も増員。伯枝師匠の落語講座卒業生にはその都度、会員募集を募り、「出前寄席」のご依頼にも対応できる体制が整った。
③ 実行性	「わくわく寄席」の会場確保も半年前にでき、「出前寄席」も三ヶ月前の早期からご依頼を多くいただき、その都度演者の出番を調整しつつ、三名にて一時間の落語会を基本に開催。会員も高校生から82歳まで幅広く、女性会員も4名有する。
④ 協働性	「アイ・あいロビー」の催しにはすべて参加。他のサークルとのジョイント落語会や、「和泉市社会福祉協議会」にて「ふくふく寄席」の実施。
⑤ 公開性	チラシの配布、コミュニティ紙、回覧板などによって告知。YouTubeにて「わくわく寄席」の公開。依頼先の新規開拓には、全落語会のアンケートにて「出前寄席」の依頼募集を実施。
⑥ 発展性 (先駆性・展開性) (集客性)	まだまだ、生落語に接する機会も少なく、初めての落語体験大いに喜んで頂いている。好評につき、令和8年度の「出前寄席」のご依頼も頂いている。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称：笑泉会

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	46,000円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	0円	
自主財源	26,000円	会費
合計	72,000円	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
消耗品費	18,000円	文房具 2,200円、コピー紙 1,000円、 コピーインク代 6,000円、高座使用粘着 テープ 1,800円、画像収録お礼菓子代 4,000円、赤毛氈（二枚） 3,000円
印刷製本費	17,600円	チラシ（A4、カラー） （わくわく）各回 300枚 6,000円 （出前）400枚 2,000円 チラシ作成アプリ代（4回分） 8,000円 アンケート用紙 800枚 1,600円
役務費	3,400円	郵便代 2,000円、ボランティア保険料 1,400円
使用料及び賃借料	31,000円	部屋代（シティプラザ） 18,000円 備品・金屏風使用代（シティプラザ） 13,000円
消耗品費（対象外）	2,000円	わくわく寄席画像保存のUSB
合計	72,000円	
対象経費	70,000円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。